

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書〈令和7年度〉

法人名	社会福祉法人 崇仁会
施設名	北沢みこころ保育園
所在	世田谷区北沢 4-16-6
クラス	つぼみ組 1歳児

## 1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

音～様々な音に触れて楽しむ～

〈テーマの設定理由〉

4月、子どもたちの様子を見て、音に興味を持つ子が多かったため、色々な音に触れて楽しめるように「音」をテーマにすることに決めた。

## 2. 活動スケジュール

- ① 新聞紙、プチプチ遊び 7/28
- ② 楽器遊び 8/6
- ③ 体操
- ④ 戸外活動

## 3. 探究活動の実践

(活動の内容)

・活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ① 【素材、道具】新聞紙、梱包材  
【環境設定】他の玩具は片付け、新聞紙・プチプチ遊びに集中できるようにした。
- ② 【素材、道具】楽器（タンバリン、鈴、マラカス、太鼓、カスタネット）、タブレット端末  
【環境設定】様々な楽器を用意し、色々な音を楽しむことができるようとした。タブレットから音楽を流し、音楽に合わせて楽器を鳴らすことも楽しむことができるようとした。

・活動中の子どもの姿や声、子ども同士や保育者との関わり等

① 初めての新聞紙・プチプチ遊びだったため、最初に新聞紙を丸めたり、ちぎったりする姿を見せた。すぐに興味を持ち、自分で新聞紙を丸めたり、ちぎったりする姿が見られた。ちぎることが難しい子は、予め少しちぎっておくと、そこからちぎることができる子がほとんどだった。「びりびり、くしゃくしゃって音がするね」と声掛けし、音にも興味が持てるようになると、新聞紙を破りながら「びりびり～！」と喜ぶ姿が見られた。梱包材プチプチは、自分で押して音を鳴らすことが難しい子が多かったので、保育士がプチプチを、雑巾を絞るようにしたり、指で押したりして音を鳴らしてみせた。大きな音が鳴ると喜ぶ姿が見られ、自分でも挑戦してみたり、「もういっかい！」と保育士に声を掛けたりする姿が見られた。

② それぞれの楽器の遊び方を伝えると、真似をして音を鳴らし楽しむ姿が見られた。音楽を流すと、音楽に合わせて楽器を鳴らして楽しむ姿が見られた。楽器を鳴らしながら、歌を口ずさむ子もいた。保育士が前で楽器を鳴らす姿を見せながら行っていたので、保育士が楽器を鳴らすタイミングで楽器を鳴らす姿も見られた。保育士に「みてて！」と言しながら、楽しそうに楽器を鳴らす姿が見られた。持ちやすいためか、マラカスを気に入っている子が多かった。玩具の貸し借りも保育士の仲立ちの下、上手に行うことができていた。

・活動中の様子

① 新聞紙・プチプチ遊び



## ② 楽器遊び



## 4. 振り返り

- ① 初めての新聞紙、プチプチ遊びだったが、とても集中して遊ぶ姿が見られた。丸めたり、ちぎったり、お面、布団、洋服等を作りながら音を楽しむことができた。口に入れようとする姿はほとんど見られず、0歳児クラスからの成長の差も感じられた。指先を使うので、一人ひとりの様子を見ながら、微細運動が苦手な子に対しては状況に応じた援助を行い、指先の動かし方等を遊びだけではなく、生活面においても丁寧に伝えながら見ていこうと思う。
- ② 各々好きな楽器を上手に鳴らして、楽しむ姿が見られた。音楽に合わせて楽器を鳴らすことが楽しいようで、「もういっかい」と何度もリクエストして繰り返し楽しむ姿が見られた。引き続き活動に楽器あそびを取り入れ、今後は音の大小の違いやリズム打ち、今回使用しなかった楽器を新たに取り入れたりし、手作りの楽器に挑戦する等、様々な音の種類があることに気付き、楽しんでいきたいと思う。